

第1回 神奈川県営水道懇話会 専門部会 議事要旨

日時・平成27年9月14日

場所・都道府県会館 神奈川県東京事務所 会議室（東京都 永田町）

部会員・作新学院大学経営学部教授 太田 正

公益社団法人日本水道協会調査部調査課長 渋谷 正夫

新日本有限責任監査法人 シニアマネージャー公認会計士 高橋 晶子

日本大学経済学部教授 沼尾 波子

（五十音順・敬称略）

1・議事内容

- ・ 県営水道に関する説明
- ・ 専門部会の今後の取組
- ・ 県営水道料金を巡る諸問題について

2・専門部会の運営について

水道料金のあり方について議論するものであり、率直な意見交換が損なわれる恐れがあるため、会議及び議事録を非公開とすることとした。

3・部会長の選出

委員の互選により太田委員が部会長として選出された。

4・主な意見（要旨）

- ・ 水道事業はどうしても地理的要因に左右され、これが水道料金に影響する。給水エリアが大都市部で人口が過密であれば経営効率は高まるが、そうでないところは厳しさがついて回るということを認識する必要がある。規模の経済が働くところとそうでないところを併せ持っているということを踏まえた分析をしていく必要がある。
- ・ 減免や消防水利の原資について、水道料金とするべきなのか一般会計とするべきなのか、非常に線引きが難しいが、重要な論点になってくると感じた。
- ・ 県営水道の借入金の残高は比較的高い水準であり、将来の債務の返済や負債の減少という側面を踏まえて、水道料金を考えていく必要がある。